

# 令和3年度 全国学力・学習状況調査 における分析結果 報告書

## 授業改善のポイント

### 【調査目的】

- 1 児童の学力の定着状況及び教育課程や指導方法等にかかわる課題及び解決策を明確にし、学力向上施策に生かす。
- 2 教育課程や指導方法等にかかわる課題・解決策を明確にし、児童一人一人の学力の定着と伸長を図る。
- 3 保護者及び市民に対し、本校児童における学力の定着状況について、説明責任及び結果責任を果たす。

### 【調査学年】

- 第6学年 109名

### 【調査日】

- 令和3年5月27日（木）

### 【調査の内容】

- 1 教科に関する調査〈選択式・短答式・記述式の3種類〉
  - ・国語
  - ・算数
- 2 児童質問紙調査
- 3 学校質問紙調査

## 目次

1	小学校国語の調査結果	1
2	小学校国語の問題と分析・授業改善のポイント	3
3	小学校算数の調査結果	5
4	小学校算数の問題と分析・授業改善のポイント	7
5	学習に関する調査結果の概要〈授業改善のポイント〉	9
6	学校調査と児童調査の結果の概要	10
7	各教科等における授業改善のポイント	裏表紙
8	カリキュラム・マネジメント	裏表紙

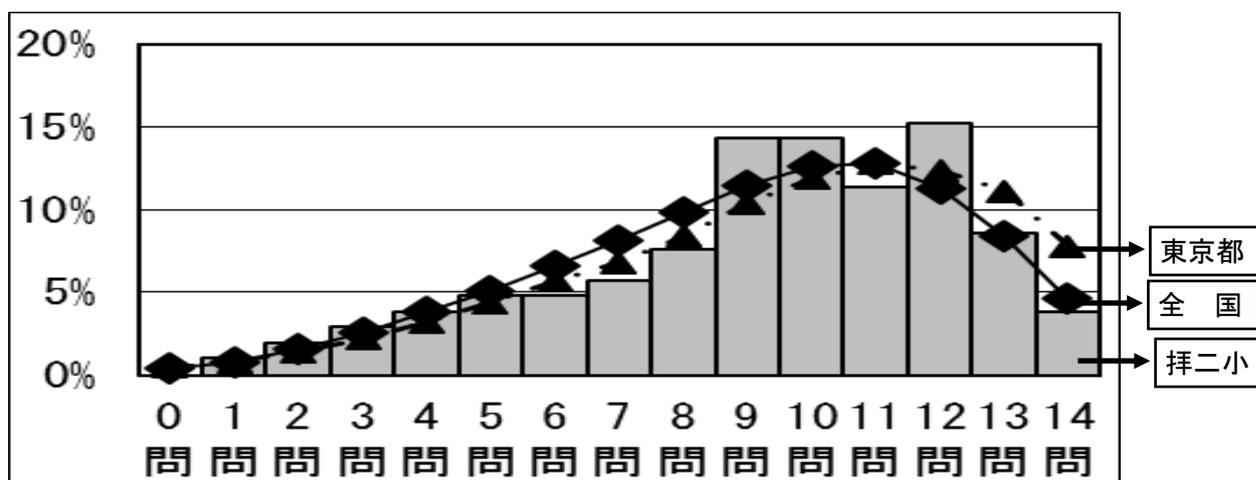
令和3年 8月  
昭島市立拝島第二小学校  
校長 小瀬 和彦

# 1 小学校国語の調査結果

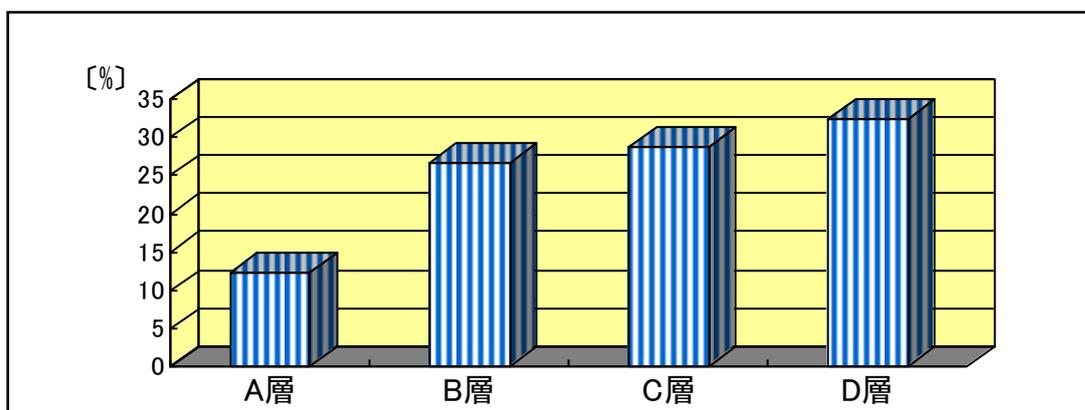
## (1) 国語の調査結果の概要

平均正答率〈%〉	本校 66.0	東京都 68.0	全国 64.7
----------	---------	----------	---------

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：正答した人数の割合）



A層（習熟の早い層）からD層（習熟の遅い層）の児童の割合



## (2) 学習指導要領の領域と観点別結果

		対象問題数(14問)	平均正答率(%)
全体		14	66.0
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	68.4
		(2)情報の扱い方に関する事項	0
		(3)我が国の言語文化に関する事項	0
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	78.7
		B 書くこと	66.2
評価の観点	C 読むこと	49.2	
	知識・技能	68.4	
	思考・判断・表現	64.5	
主体的に学習に取り組む態度		0	

### (3) 国語の設問ごとの正答率と分析

問題 番号	問題の概要 (出題の趣旨)	本校		全国 (公立)	
		正答率	無解答率	正答率	無解答率
1一	津田梅子の二つの業績を明確に伝えるために、【スピーチメモ】と【スピーチ】の練習で上野さんが話した構成の説明として、適切なものを選択する。(目的に応じ、話の内容が明確になるように構成を考える。) 〔話す・聞くこと、思〕	81.0%	0.0%	77.5%	0.3%
1二	津田梅子についてのスピーチの練習で〈資料②〉と〈資料③〉を使った理由の説明として適切なものを選択する。(資料を用いた目的を理解する。) 〔話す・聞くこと、思〕	73.3%	1.0%	74.9%	0.4%
1三	津田梅子についての【スピーチ】の練習の 部分で話す内容として適切なものを選択する。(目的や意図に応じ、資料を使って話す。) 〔話す・聞くこと、思〕	81.9%	0.0%	81.0%	0.4%
2一	面ファスナーに関する【資料】の文章が何について、どのように書かれているかの説明として適切なものを選択する。(文章全体構成を考え、内容の中心となる事柄を把握する) 〔読むこと、思〕	78.1%	0.0%	77.6%	0.4%
2二	面ファスナーに関する【資料】の文章のなかの「より」と同じ使い方として適切なものを選択する。(思考に関わる語句の使い方理解し、話や文章の中で使う。) 〔言語、知〕	87.6%	0.0%	87.5%	0.3%
2三	面ファスナーに関する【資料】を読み、メストラルは、何をヒントにどのような仕組みの面ファスナーを作り出したのかをまとめて書く。(目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付ける。) 〔読むこと、思〕	36.2%	2.9%	34.4%	4.1%
2四	面ファスナーに関する【資料】を読み、面ファスナーが国際宇宙ステーションの中で、どのように使われているのかをまとめて書く。(目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する) 〔読むこと、思〕	33.3%	1.9%	29.7%	5.5%
3一	丸山さんの【文章の下書き】の構成についての説明として適切なものを選択する。(自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考える。) 〔書くこと、思〕	71.4%	1.9%	64.8%	2.1%
3二	丸山さんの【文章の下書き】の…部を【西田さんの話】を用いて詳しく書き直す。(目的や意図に応じて、理由を明確にしなが、自分の考えが伝わるように書き直し方を工夫する) 〔書くこと、思〕	61.0%	10.5%	56.6%	9.6%
3三 (1)ア	丸山さんの【文章の下書き】の中の 一 部アを漢字に書き直す。(ころがっている) 〔言語、知〕	80.0%	14.3%	78.3%	8.8%
3三 (1)ウ	丸山さんの【文章の下書き】の中の 一 部ウを漢字に書き直す。(つみ重ね) 〔言語、知〕	41.0%	26.7%	54.4%	14.4%
3三 (1)エ	丸山さんの【文章の下書き】の中の 一 部エを漢字に書き直す。(原因) 〔言語、知〕	88.6%	5.7%	79.0%	6.6%
3三 (2)イ	丸山さんの【文章の下書き】の中の 一 部イで ～ 部「残されています。」の主語として適切なものを選択する。(主語と述語の関係を捉える) 〔言語、知〕	69.5%	5.7%	67.0%	3.8%
3三 (2)オ	丸山さんの【文章の下書き】の中の 一 部オで ～ 部「すぐに」がくわしくしている言葉として適切なものを選択する。(修飾と被修飾との関係を捉える) 〔言語、知〕	43.8%	6.7%	%	4.1%



### (3) 小学校国語 授業改善のポイント

- ◇ 課題 「説明的な文章を読んで文章全体の構成を考え、文章と図を結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、目的に応じて中心となる語や文を読み取ったりして、要約することができる。【資料】『面ファスナー』 正答率 33.3%

#### ◇ 授業場面の設定

相川さんの学級では、身近ある便利なものについて調べています。相川さんは、『面ファスナー』を選びました。次は、相川さんが読んだ【資料】『面ファスナー』です。

### I 文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握する。

発問1 相川さんが読んだ【資料】の文章は、何について、どのように書かれていますか。

- ア 面ファスナーの開発と広がりについて、時間の経過に沿って書かれている。
- イ 面ファスナーの長所と短所について、それぞれの事例が交互に書かれている。
- ウ 面ファスナーの長所と短所について、一つの事例が取り上げられて書かれている。
- エ 面ファスナーの開発と広がりについて、筆者の問いとその答えが繰り返し書かれている。

### II 話の中心点（思考に関わる）の語句の使い方を理解し、使うことができる。

発問2 【資料】の中の「～ホックやボタンより留め外しの簡単な面ファスナーの方が～」の文「より」と同じ使い方のものはどれですか。

- ア 音楽会は九時より始まります。
- イ 雨天により試合は延期になりました。
- ウ 会場へは正門よりお入りください。
- エ 今年の夏は享年の夏より暑いです。

### III 目的（面ファスナーの開発）に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を取り出し、条件に応じてまとめる（文章表現）ことができる。

発問3 相川さんは面ファスナーのくっつく仕組みについて考えています。メストラル（開発者）は何をヒントに、どのような仕組みの面ファスナーを作り出しましたか。次の条件に合わせて書きましょう。

- 〈条件〉○ ヒントになったことと、面ファスナーのくっつく仕組みが分かるように書くこと。  
○ 【資料】の中の文章との「面ファスナーの仕組み」から言葉や文を取り上げて書くこと。  
○ 五十字以上、八十字以内にまとめて書くこと。

### IV 目的（面ファスナーの広がり）に応じ、中心となる語や文を読み取り、要約することができる。

発問4 面ファスナーは国際宇宙ステーションの中で、どのように使われていますか。次の条件に合わせて書きましょう。

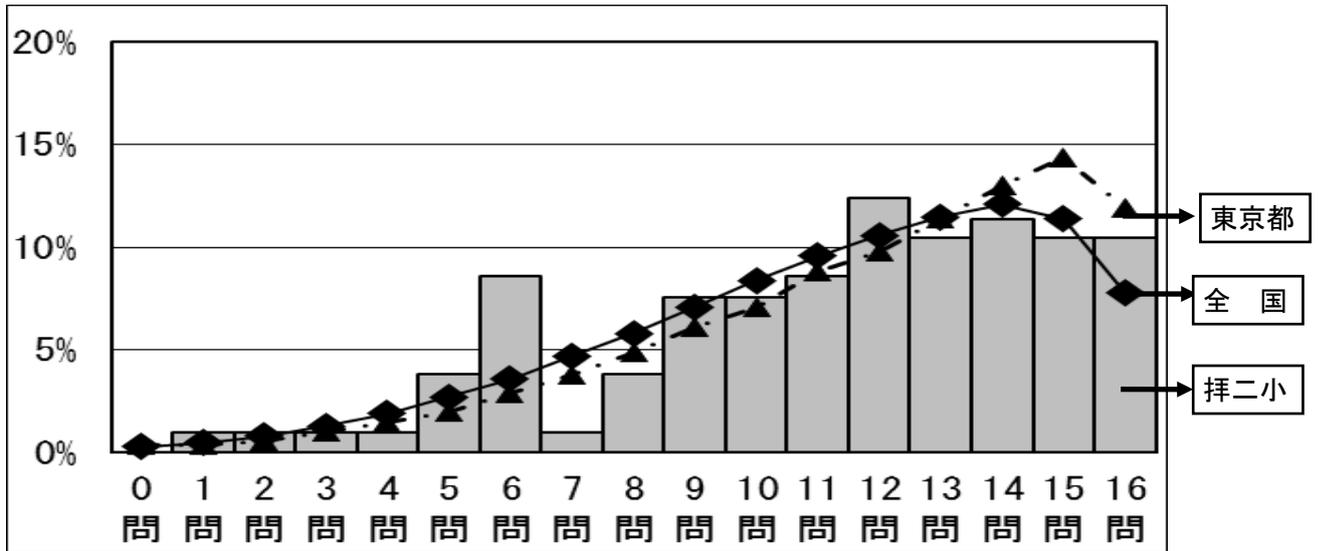
- 〈条件〉○ 面ファスナーのよさを取り上げて、国際宇宙ステーションの中での使われ方について書くこと。  
○ 【資料】から言葉や文を取り上げて書くこと。  
○ 五十字以上、七十字以内にまとめて書くこと。

### 3 小学校算数の調査結果

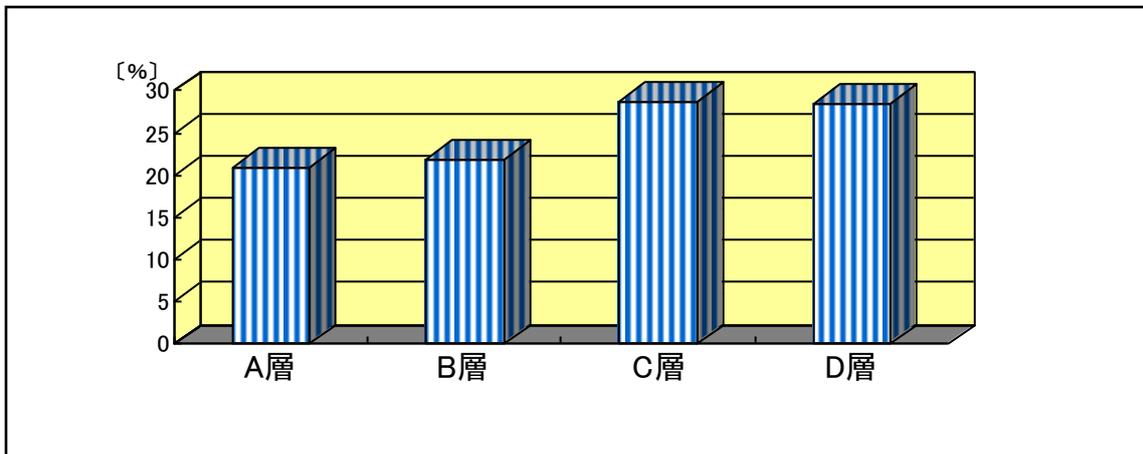
#### (1) 算数の調査結果の概要

平均正答率〈%〉	本校 70.0	東京都 74.0	全国 70.2
----------	---------	----------	---------

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：正答した人数の割合）



A層（習熟の早い層）からD層（習熟の遅い層）の児童の割合



#### (2) 学習指導要領の領域と観点別結果

		対象問題数(14問)	平均正答率(%)
学習指導要領の領域	A 数と計算	4	63.3
	B 図形	3	52.7
	C 測定	3	74.0
	C 変化と関係	3	77.8
	D データの活用	5	77.3
評価の観点	知識・技能	9	74.5
	思考・判断・表現	7	65.0
	主体的に学習に取り組む態度	0	

### (3) 算数の設問ごとの正答率と分析

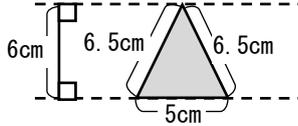
問題番号	問題の概要	本校		全国(公立)	
		正答率	無解答率	正答率	無解答率
1(1)	二つのコースの道のりの差の求め方と答えを解く。(二つの道のりの差を求めるために、必要な数値を選び、その求め方と答えを記述できる) [思考・判断・表現]	63.8%	3.8%	62.5%	1.7%
1(2)	500mを歩くのに7分かかることを基に、1000mを歩くのにかかる時間を解く。(速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察することができる) [思考・判断・表現]	90.5%	1.9%	86.7%	1.7%
1(3)	AとIの二つの速さを求める式の意味について正しいものを選ぶ。(速さを求める除法の式と商の意味を理解している。) [知識・技能]	57.1%	0.0%	55.8%	1.4%
1(4)	午後1時35分から50分後の時刻を書く。(条件に合う時刻を求めることができる。) [知識・技能]	94.3%	0.0%	89.2%	0.7%
1(5)	分速540mのバスが2700mを進むのにかかる時間を求める式を書く。(速さと道のりを基に、時間を求める式に表すことができる。) [知識・技能]	85.7%	1.9%	85.1%	1.5%
2(1)	直角三角形の面積を求める式と答えを書く。(三角形の面積の求め方を理解している。) [知識・技能]	51.4%	1.0%	55.1%	1.6%
2(2)	直角三角形を組み合わせた図形の面積について分かることを選ぶ。(複数の図形を組み合わせた図形の面積について量の保存性や量の加法性を基に考え、比べることができる。) [知識・技能]	63.8%	0.0%	72.5%	1.0%
2(3)	二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と答えを書く。(複数の図形を組み合わせた平行四辺形について図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて図形の面積の求め方と答えを記述できる。) [思考・判断・表現]	42.9%	1.9%	46.0%	4.6%
3(1)	6年生の本の貸し出し冊数を、棒グラフから読み取って選ぶ。(棒グラフから数量を読み取ることができる。) [知識・技能]	94.3%	0.0%	95.8%	0.4%
3(2)	学年ごとの貸し出し冊数について、棒グラフから分かることを選ぶ。(棒グラフから項目間の関係を読み取ることができる。) [知識・技能]	92.4%	0.0%	90.7%	0.4%
3(3)	「114」は二次元の表のどこに入るかを選ぶ。(データを二次元に分類整理することができる。) [知識・技能]	71.4%	1.0%	67.5%	1.7%
3(4)	帯グラフから割合の違いが一番大きい項目を選び、その項目と割合を書く。(帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述できる。) [思考・判断・表現]	54.3%	11.4%	52.0%	10.3%
3(5)	5年生と6年生の読みたい本と、多くの5年生と6年生に読まれている本を調べるために、適切なデータを選ぶ。(集団の特徴を捉えるために、どのようなデータを集めるべきか判断することができる。) [思考・判断・表現]	74.3%	0.0%	73.9%	1.3%
4(1)	余りのある除法の商と余りを基に、23個のボールを6個ずつ箱に入れていくときに必要な箱の数を書く。(示された結果について、日常生活の場面に即して判断することができる。) [思考・判断・表現]	78.1%	1.0%	83.0%	1.7%
4(2)	8人に4Lのジュースを等しく分けるときの一人分のジュースの量を求める式と答えを書く。(商が1より小さくなる等分除(整数)÷(整数)の場面で、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算をすることができる。) [知識・技能]	60.0%	1.9%	55.5%	2.0%
4(3)	30mを1としたときに12mが0.4に当たるわけを書く。(小数を用いた倍についての説明を解釈し、他の数値の場合に適用して、基準量を1とした時に比較量が示された小数に当たる理由を記述できる。) [思考・判断・表現]	51.4%	11.4%	51.5%	10.3%

## 4 小学校算数の問題と分析・授業改善のポイント

### (1) 算数の問題と分析

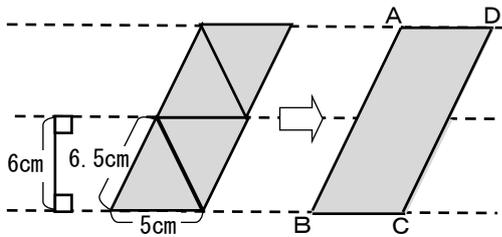
#### 【問題の概要】算数2(3)

次のような二等辺三角形があります。



— 6 —

上の二等辺三角形を4つ使い、次のように、同じ長さの辺どうしを合わせて、平行四辺形 ABCD をつくりました。



平行四辺形の面積の公式を使って、平行四辺形 ABCD の面積を求めます。

辺 BC を底辺としたときの面積の求め方を、式や言葉を使って書きましょう。そのとき、平行四辺形 ABCD の高さをどのように求めたのかが分かるようにしましょう。

また、平行四辺形 ABCD の面積が何  $\text{cm}^2$  になるかも書きましょう。

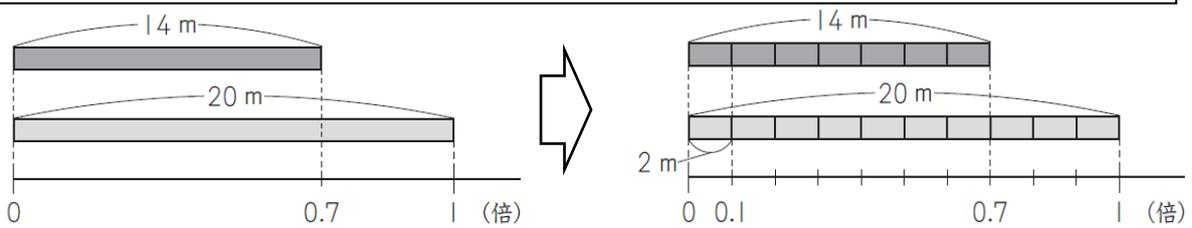
【分析】本問は、複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素に着目して求め方と答えを、式や言葉を用いて説明できるかどうかをみる問題である。正答率は、42.9%である。指導に当たっては、①「図や式を関連させて面積の求め方を考える活動」、②「考えた面積の求め方を言葉や数を使って説明する活動」をスモールステップで設定する必要がある。

### (2) 算数の問題と分析

#### 【問題の概要】算数4(3)

##### 【ゆうまさんの説明】

20 m を 1 としたとき、0.1 にあたる長さは 2 m です。14 m は、2 m の 7 つ分になるので、20 m を 1 としたときの 0.7 にあたります。

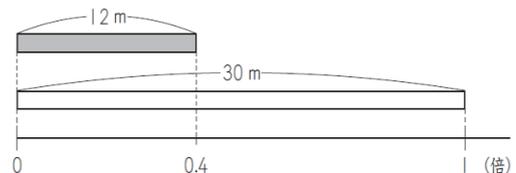


12mのテープと 30mのテープもあります。たくみさんたちは、12mは 30mの何倍かについて考えています。

たくみ：12÷30=0.4で、0.4倍です。

さくら：30mを1としたとき、12mが本当に0.4にあたるのかな。

30mを1としたときに、12mが0.4に当たるわけを、【ゆうまさんの説明】と同じように、0.1にあたる長さが分かるようにして、言葉や数を使って書きましょう



【分析】本問は、小数を用いた倍についての説明を解釈し、他の数値の場合に適用して、基準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる問題である。正答率は、51.4%である。指導に当たっては、商が1より大きい場合だけでなく、商が1より小さい除法についても、商の意味を考慮することができるようにすることが大切である。その際、倍の意味を「基準量を1としたときに、幾つに当たるか」と捉えることができるよう指導する必要がある。

### (3) 小学校算数 授業改善のポイント

◇課題 「問題場面の数量の関係を的確に捉え（解釈し）て立式し、問題解決を図り、数学的に説明することができる」 **正答率 51.4%**

数量の関係を的確に捉えて立式し、問題解決を図り数学的に説明しよう！

#### I 問題場面で提示された情報を取り出して整理する

0.4mの重さが 60gの針金があります。



この針金の長さを変えて、そのときの重さについて考えてみよう！

長さが0.8mのとき、重さは120gになります。

長さが2倍になると、重さも2倍になるのですね。

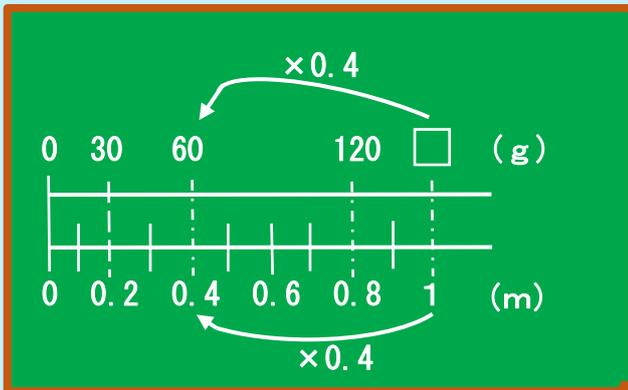
長さが半分の0.2mのとき、重さも半分の30gになります。

1mの重さが何gになるか考えてみましょう！

数を2倍にしたり半分にしたりするなどして、提示された情報を整理するなど考える場面を設定し、問題場面を把握することができるようにすることが大切である。

#### II 問題場面を数直線に表して考え、問題解決のプロセスを説明させる

それでは、針金の長さとう重さを、数直線に表して考えてみよう！



次に、どのように立式したか、説明してみましょう！

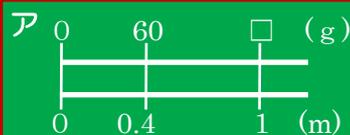
0.4mは、1mの0.4倍なので、60gも、 $\square$ gの4倍になります。 $\square \times 0.4 = 60$ となるので、 $\square$ は  $60 \div 0.4$  を計算すれば求めることができます。 $60 \div 0.4 = 150$ で、 $\square$ は150です。だから、1mの重さは150gです。

問題解決（解き方）の過程を説明させる場面を意図的に設定することが大切である。

#### III 「II」で習得した数学的な考え方を活用する

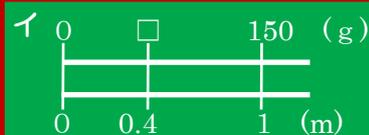
1～3の問題についてア、イ、ウから数直線図を、A、B、Cから式を選び、解き方を説明しよう！

1 1mの重さが150gの針金があります。この針金0.4mの重さは何gでしょう。



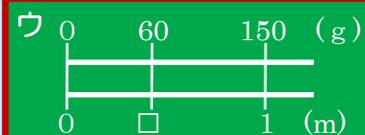
A 式  $\square \times 0.4 = 60$   
 $60 \div 0.4 = 150$

2 1mの重さが150gの針金があります。この針金60gの長さは何mでしょう。



B 式  $150 \times 0.4$

3 1mの重さが150gの針金があります。この針金60gの長さは何mでしょう。



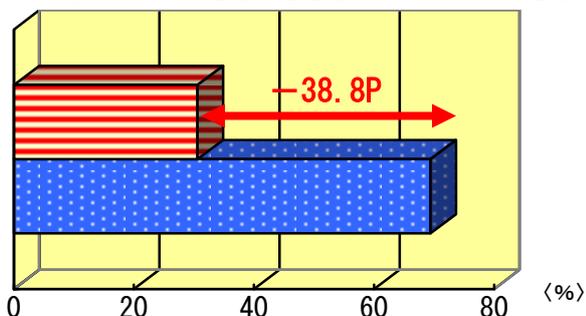
C 式  $150 \times \square = 60$   
 $60 \div 150 = 0.4$

「基にする大きさ（基準量）」、「割合に当たる大きさ（比較量）」、「割合」のうち、どれを求めているのか、確認することが大切である。

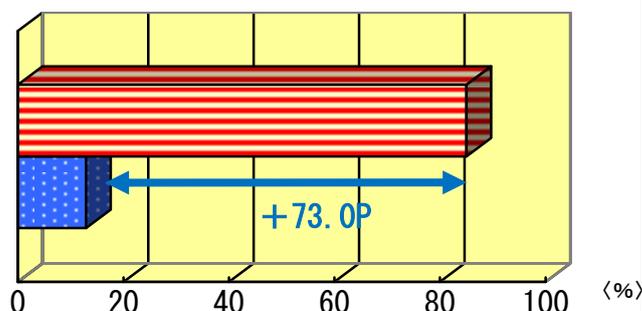
## 5 学習に関する児童質問紙調査結果の概要

下記のグラフは、児童質問紙において、「当てはまる」・「どちらかといえば当てはまる」 と「どちらかといえば当てはまらない」・「当てはまらない」 と回答した児童の正答率を示している。

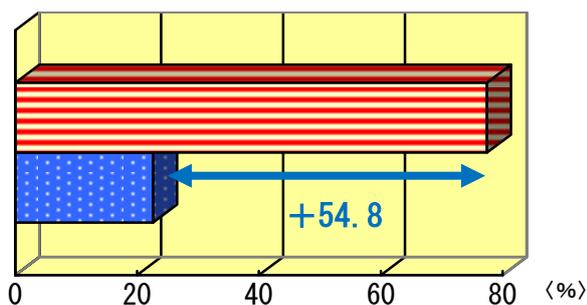
① 「用語・公式」算数で学習する言葉や公式は見ないでも言えるようにしている。ー8



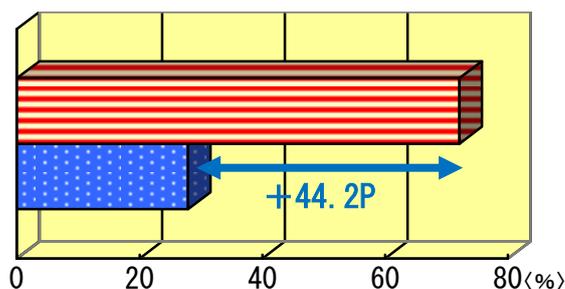
② 「用語・公式」算数で学習する言葉や公式の意味を理解しようとしている。



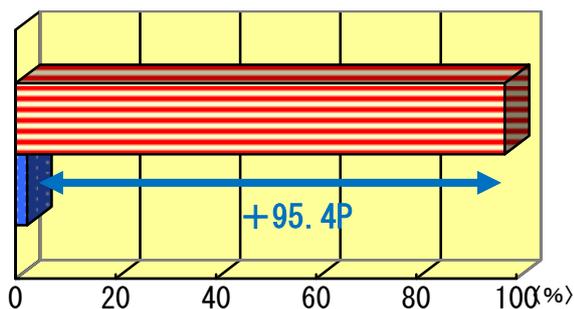
③ 「用語・公式」算数で学習した言葉を使って自分の考え方を説明している。



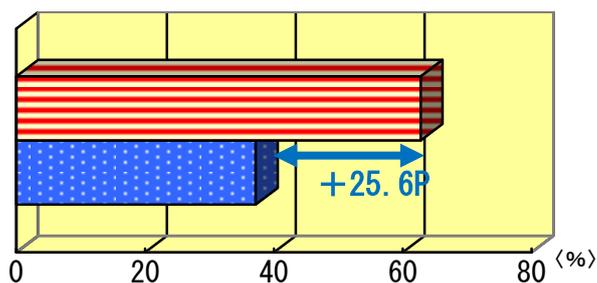
④ 漢字を何度も繰り返し書いて覚える。



⑤ テストで漢字を書き間違えたときは、どこを間違えたのかを確かめている。



⑥ 似た意味や反対の意味の漢字、使われている熟語などを確かめながら一緒に覚えている。

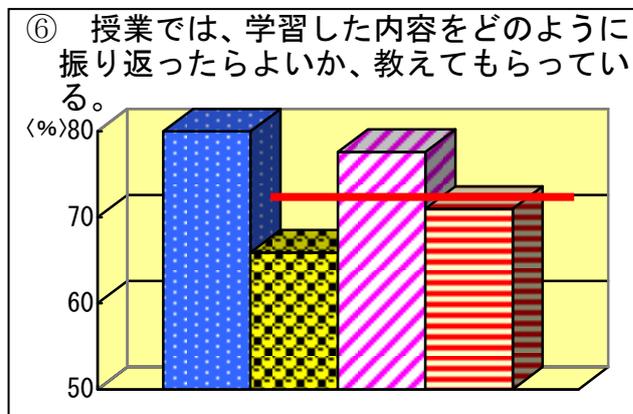
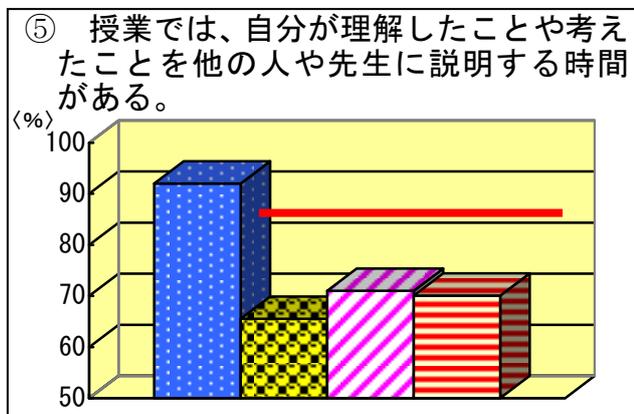
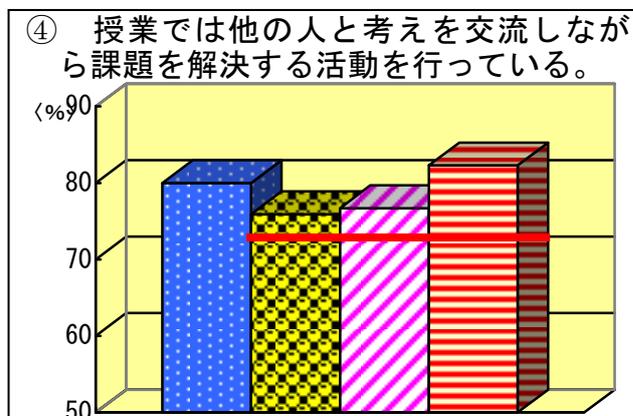
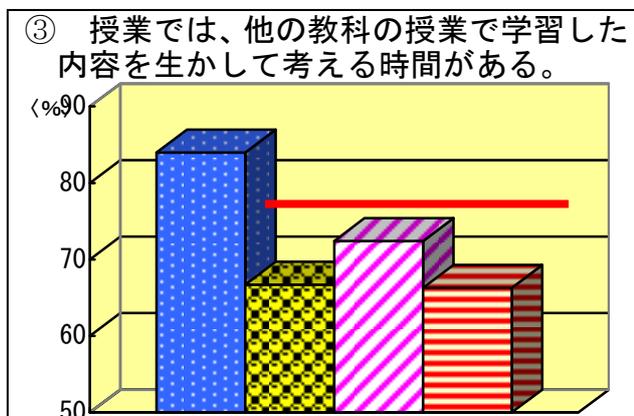
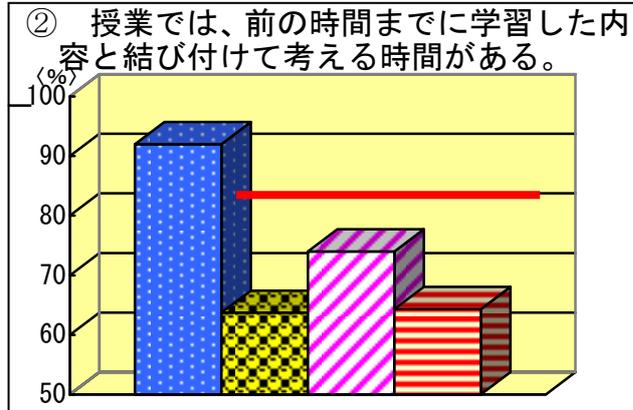
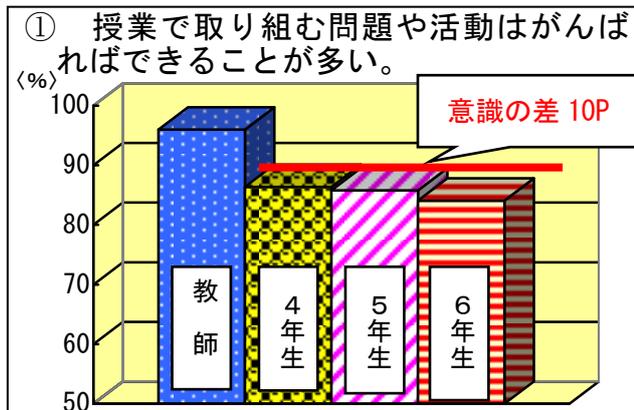


### 学習指導の改善ポイント

- 1 『用語・公式』は丸暗記させるのではなく、用語や公式の意味を捉えさせ、用語や公式を使って考え方を説明する場の設定が大切である。
- 2 テストで漢字を書き間違えた時は、どこをどのように間違えたのか確かめる場の設定が大切である。
- 3 新出漢字を習得させるためには、併せて似た意味や反対の意味の漢字、使われている熟語などを確かめさせることが大切である。

## 6 学校調査と児童調査の結果の概要

下記のグラフは、「当てはまる」または「どちらかと言えば当てはまる」と、肯定的な回答した割合を示している。



### 分析結果と授業改善のポイント

特に教師と児童の意識の乖離が激しかったのは、「授業では、前の時間までに学習した内容と結び付けて考える時間がある」で、教師は92.0%であったが、4年生63.7%、5年生74.0%、6年生64.3%であった。また、「授業では自分が理解したことや考えたことを他の人や先生に説明する時間がある」では、教師が92.0%であるのに対し、4年生65.5%、5年生71.0%、6年生70.1%で、いずれも15ポイント以上の乖離があった。続いて「授業では、他の教科の授業で学習した内容を生かして考える時間がある」では、教師が84.0%であるのに対し、4年生66.7%、5年生72.4%、6年生66.3%であった。特に、これらの項目については、意図的・計画的に設定すると同時に、児童の意識化を図っていく必要がある。

## 7 各教科等における授業改善のポイント

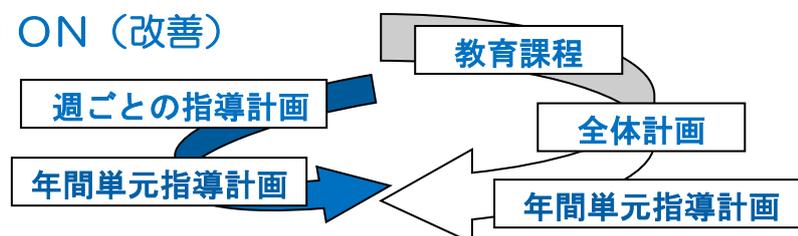
- (1) 授業に、次のような場面を意図的・計画的に設定する。
  - ① 前の時間までに学習した内容と本時を結び付けて考える場面を設定する。
  - ② 自分が理解したことや考えたことを他の人や先生に説明する場面を設定する。
  - ③ 他の教科の授業で学習した内容を生かして考える場面を設定する。
- (2) 授業に、次のような段階を意図的・計画的に設定する。
  - ① 複数の「連続テキストと非連続テキスト」から目的に応じた情報を正確に取り出す場面
  - ② 取り出した複数の情報を比較・関連付けて読み取る場面
  - ③ 読み取った内容の意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する場面
- (3) 「拝二小授業カスタンダード 2Over.3」に則った授業を展開する。
- (4) 新聞や「全国学力・学習状況調査」問題を教材として活用した授業展開を図る。
- (5) 今後、より一層、「思考力・判断力・表現力等」の向上を図るための手づくりテスト及び、論文問題を出題し、評価・改善を実施するなど PDCA サイクル化を図る。

## 8 カリキュラム・マネジメント

### (1)カリキュラムPDC（作成・実践・評価）

- ① 年間指導計画を、当該学年の各教科について「学校経営グランドデザイン」、「新学習指導要領」、「地域・学校・児童の実態」、「各種スタンダード、校長からの資料」を踏まえ、学期ごとに、各学年・専科担当（横串）が年間指導計画をチェック（大胆に朱を入れること）する。
- ② 「①」を吟味・検討し、「学校経営グランドデザイン」、「学習指導要領」、「地域・学校・児童の実態」、「各種スタンダード、校長からの資料」を踏まえ、上記の観点から、各教科担当（縦串）が次年度に向け年間指導計画を完成させる。

### (2) ACTION（改善）



☆ 教育課程→全体計画→・・・←単元指導計画←週ごとの指導計画の、両方向からの評価改善を実施、それぞれを有機的に関連付け、系統化を図っていく。

#### ◇ 改善の視点

- ① 「何ができるようになるか」育成を目指す資質・能力について
- ② 「何を学ぶのか」学習（指導）内容（学ぶ意義）・教育課程の編成
- ③ 「どのように学ぶのか」学習（指導）方法・指導計画の作成
- ④ 「何が身に付いたのか」学習評価
- ⑤ 「子供一人一人の発達をどのように支援するか」発達を踏まえた指導
- ⑥ 「実現するために何が必要か」必要な方策